

2013年5月4~5日

## 木曾御嶽山 (3,067m)

～レポート by 高橋(雄)～

5月連休の山は、残雪の木曾御嶽山。昨年も企画したが、ゴンドラリフトが動いておらず、登り口の田ノ原までの除雪もできていなかったため断念した。今年はゴンドラリフトが動いているとのことで、予定通り決行した。参加者は能勢さん、堀さん、吉松さん、石井さん、岡部（由）さん、小野寺さん、高橋（雄）の7人。当初、熊本さんも参加予定であったが、十二指腸潰瘍でドクターストップがかってしまい、残念ながら行けなくなってしまった。

### ～5月4日（みどりの日）～

今回の木曾福島までの往路は、料金の安い高速バスを利用した。（JRの約半額）



新宿 8:10 発

ここからの乗車は堀さん、吉松さん、石井さん、岡部（由）さん、小野寺さんの5人。なんと不参加となった熊本さんが見送りにきてくれた！ しかもお酒の差し入れをいただき、写真も撮っていただいた。

ありがとうございました。

（熊本さんはこのあと、根津神社でツツジと上野東照宮の牡丹を見に行かれたとのこと）



能勢さんと私（高橋雄）は途中の中央道日野のバス停から8時43分乗車の予定だった。しかし連休混雑で中央高速道の下りは渋滞中。

普段はいないバス会社の係員がいて、新宿からのバスは30~40分遅れていると案内している。

9時20分、やっとバスが来て乗車。そのあとも渋滞が相模湖まで続き、遅れはさらに増えていった。



11:00 釧路堂 PA で休憩。

ここまで遅れば 1 時間 30 分となった。



予定では木曽福島に 12:25 分着で、着いてから昼食をとるつもりだったが、この分では到着が 14 時ごろとなる見込み。適度に草餅などでお腹を満たす。



快晴で視界は良い。

駐車場から南アルプスの山々が見えた。



その後は渋滞はなく、バスはスムーズに走行したが、結局予定より 1 時間 35 分遅れて木曾福島駅 14 時着。



木曾福島駅には SL が展示してあった。



駅レンタカーで FIT を 2 台借用。  
ドライバーは石井さんと高橋（雄）。

先ずは近くのスーパーAEON に行き、明日の昼食のパン類やお茶や水などを調達。  
その後、今夜の宿の王滝村のスキー場ふもとにある「ロッヂやま」を目指して走行。



15:50～17:00

宿近くの途中にある「こもれびの湯」で温泉入浴。

源泉かけ流し。炭酸泉で鉄分が多く、内湯は赤茶色。露天には樽風呂があって、そちらは透明で炭酸の泡が皮膚にまとわりついてくる。

ただし建物は小さく、定員は男女各 10 名ぐらいか。洗い場は 3 名分しかない。出るときはスキー帰りの車が次々ときて駐車場は混雑した。



17:10 「ロッヂやま」着。

かつてのバンクーバーオリンピックでのスケルトン選手、越和宏のご両親が経営する宿。



夕食は 18:30 からで、その前に部屋で先ず一杯。



熊本さんから差し入れていただいた越乃寒梅や、ビール、ワインなどでまったり。



18:30 夕食。



メインは鍋。牡蠣やエビなどのあとは猪の肉を入れて、最後はうどんでおなか一杯。

その後も部屋で歓談し、22時就寝。

～5月5日（こどもの日）～



5時30分に目が覚め、外に出てみたら、雲ひとつない快晴。  
木曾御嶽山の真っ白な山頂がきれいに見えている。



振り返ると木曾駒ヶ岳などの中央アルプスの山々が朝もやの上にくっきりと浮かんでいる。



7:00 朝食。



8:00 スキー場ゴンドラリフト山麓駅駐車場で集合写真。



8:10 ゴンドラリフト乗車。



ゴンドラは1台6人乗り。  
4人と3人に分かれて乗車。



このゴンドラリフトは標高 2240m まで一気に運んでくれる。



8:25 山頂駅着。  
アイゼンなどを装着して登山準備。



視界は極めて良好。  
大パノラマをしばしカメラに収める。



8:50 山頂駅から標高 2191m の田ノ原の登山口まで一旦下り、そこで御嶽山をバックにスタート写真。  
(本日のルートを追記)



田ノ原の御嶽神社の鳥居をくぐって出発。  
(鳥居の奥に小さく見えるのが我々のパーティーで、スキーの人は関係ありません)



9:00 雪はあるものの、無風で、直射日光を浴び、温かい。歩き始めて 10 分で汗をかき、着替えた。



森林限界内は比較的緩やかな登り。



9:40 森林限界が終わるあたりで給水タイム



本来の登山道は尾根筋だが、岩がところどころ出ていて、アイゼンでは歩きにくいと判断し、雪渓を直登することにした。



しかし雪渓は思ったより傾斜が急で、喘ぎながらじっくり登る。



10:40 大休止。8合目あたりか。雪の上にすわると冷たいので、登山道のほうに寄り、太陽で暖められた岩の上に座る。



王滝頂上（2930m）の山荘まであと一息。  
だが、こここの急坂は疲れた身にはつらい。10  
歩進んでは休むを繰り返して少しづつ登る。



11:20 王滝頂上。  
ここにも御嶽神社の社がある。  
さらに奥に御嶽山の最高点の剣ヶ峰頂上  
(3067m) が見えている。



かなり体力を消耗しているので、ここで昼食  
をとることにした。社務所の屋根まで積もった  
雪を登って



屋根の上の雪のないところに座って昼食。



少し雲が出てきて、日差しが遮られると風が冷たい。ヤッケなどを着込む。

少し離れたところから噴煙が出ており、硫黄臭もする。





12:00 昼食でエネルギーを補給、体力を回復したところで、ザックを置いて空身で最高点を目指して最後の一登り。

12:26 御嶽山最高点、剣ヶ峰頂上 (3067m) 着。

ちょっと雲が出てきたが、近くは乗鞍岳から北アルプス、中央アルプスの山々などが確認できる。

360 度の大パノラマだ。山頂の標識を囲んで北方向をバックに記念写真を撮る。



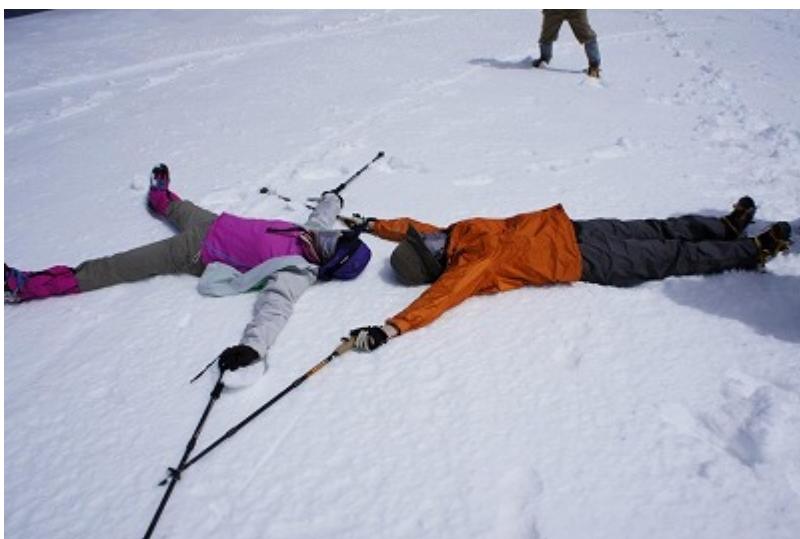


東方向の中央アルプスをバックにしてさらに一枚。



各自思う存分素晴らしい景観をカメラに納め、山頂の社を拝む。

12:40 下山開始。



山頂直下も急坂だ。  
何度か足を滑らせて転ぶ人も。

すわ、滑落した遭難者？  
いいえ、まだ踏まれていない雪の上に寝そべってみたいだけでした。



急斜面をスキー や簡易そりで滑り降りる他の登山者も多い。

岡部さんもマネをしてシートをそり替わりに敷いて挑戦。シリセード？



岡部さんのシュプール。

でも途中でシートが外れたりしておしりはびしおびしそ。



14:10 田ノ原の鳥居着。

3 時間かけて登ったところを半ば滑ったりして 1 時間半で下りてきた。

その後下りのゴンドラリフトで 14:40 山麓駅着。車で昨日の温泉「こもれびの湯」に移動して 15:20~16:00 で入浴、日焼け止めや汗を洗ってさっぱりし、17:00 にオンタイムで木曽福島駅に戻り、レンタカーを返した。



帰りは都合のいい高速バスはなく、JR を利用。石井さんは名古屋経由で新幹線で帰宅。あとのが 6 人は塩尻から中央線で新宿方面に向かう。



木曾福島～塩尻までの特急ではなんとか席を確保できた。

塩尻では中央線特急「スーパーあづさ」との待ち合わせが 50 分あり、駅近くの手打ちそば屋で夕食。



塩尻 18:43 分発のスーパーあづさは連休の帰り客で自由席もすでに満席。我々はデッキで立ち話をしながら過ごした。

20:35 八王子で能勢さん、堀さん、吉松さんが乗り換え、20:43 立川で高橋（雄）が乗り換え、21:06 岡部さん、小野寺さん新宿着となりました。

絶好の好天に恵まれ、雪渓歩きと山頂からの雄大なパノラマを満喫して充実至極の木曾御嶽山でした。

下りもこの季節ならではの雪渓を使ったので、雪の適度なクッションで膝への負担も少なかったと思います。皆さん、お疲れ様でした。・・・